

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026/2/20

事業所名： 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス キッズワンハート東浦教室

対象人数（保護者）42人 回答者数 30人 回収 71.4%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	4		1	国の基準を満たしたスペースを確保しております。今後も活動内容に応じた環境設定を行い、安全で過ごしやすい空間づくりに努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		6	基準を満たした人員配置を行っております。引き続き専門職の配置と職員研修を通して支援の質向上に努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2		6	発達支援の視点を取り入れた環境設定を行っています。安全面への配慮についても丁寧に説明し、安心してご利用いただける環境整備を継続します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1		3	限られた空間の中でも活動に応じたレイアウトを行っています。今後も清潔で明るい環境維持に努めます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	2		1	お子さま一人ひとりの特性に応じた専門的支援を継続するとともに、職員の専門性向上に努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1		2	支援プログラムはホームページで公表しております。今後も内容と実際の支援が一致するよう努めていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	29	1			年2回以上の面談を実施し、ご本人・保護者様のご希望を反映した個別支援計画を作成しております。今後も丁寧な聞き取りを行ってまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2		2	ガイドラインに基づき「本人支援・家族支援・移行支援」の視点を大切に、具体的な支援計画の作成と説明を行っています。
9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30					個別支援計画に基づいた支援実施を徹底し、定期的に振り返りを行っております。
10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2		3	活動内容が固定化しないよう、季節行事や新しいプログラムを取り入れ工夫しております。	
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	7	8	11	地域交流については、ご家庭の意向やお子さまの状況を踏まえ、無理のない形で検討してまいります。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1		1	契約時に丁寧な説明を心掛けております。今後もわかりやすい説明と適正な請求対応を徹底します。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	11	6	8	研修会や情報提供については、早めの周知とLINE等を活用した案内強化を検討します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28		1	1	日々の連絡帳や面談を通して情報共有を行っております。今後も共通理解を大切にします。
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1	1		今後も定期面談を継続し、子育てに関するご相談にも丁寧な対応を心がけて参ります。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2			共感的な関わりを大切にしております。今後もお子さまとご家族に寄り添った支援を行っていきたく思っております。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	6	10	12	保護者交流やきょうだい支援については、希望制での実施を検討し、必要に応じて機会を設けてまいります。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2		7	相談体制を整備しております。相談窓口の周知を改めて行い、迅速かつ適切に対応に努めます。	
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27		1	2	LINEや連絡帳を活用し、円滑な情報伝達に努めております。引き続き複数の連絡手段を活用します。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	4	3	通信やホームページ、SNS等で情報発信を行っています。今後も定期的な発信を継続します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	2	1	個人情報保護規程に基づき適切に管理しております。職員への周知徹底も継続します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	3	6	各種マニュアルを整備し、訓練も実施しております。実施状況についても分かりやすく周知いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	4	5	避難訓練等を定期的に実施しております。実施報告をより分かりやすく発信します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	2	4	安全計画に基づき支援を行っております。今後も安全管理体制の強化に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	2	4	事故発生時は速やかに連絡・説明を行っております。再発防止策の共有にも努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30			引き続き、お子さま一人ひとりが安心して過ごせる居場所づくりを大切に、信頼関係を基盤とした支援を行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3		活動内容の工夫や成功体験を積み重ねる支援を通して、「また来たい」と思える環境づくりを継続します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30			温かいお言葉をいただきありがとうございます。今後も安心と笑顔を大切に、職員の健康管理にも配慮しながら、質の高い支援の継続と向上に努めてまいります。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をやるのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。